

農業情報処理

使用教科書	単位数	学年・学級・学科・選択名等
実教出版「農業情報処理」 教材:全国経理教育協会 文書処理検定(入力・作成・表計算)	2	2年(フードシステム科)

1 学習の到達目標

学習の到達目標	1年次に基礎的な範囲を終えていることから ・情報処理関係の資格取得を目指す学習が中心のため、自ら積極的に資格取得に参加する ・自分が持っている上位級取得する ・期間ごとに到達する技能目標を決め、技能を高める
----------------	--

2 学習計画

学期	月	単元の学習内容	時数	単元のねらい	評価の観点				評価方法
					①	②	③	④	
前期	4	私たちの生活と情報システム	1	・情報システムの種類と生活分野、農業分野における情報システムについて学習する。	○			○	授業態度
		日本語ワードプロセッサの利用	3	・文書処理検定3級程度の問題を活用して、現段階での入力できる数値を記録する。(基礎値の設定)		○	○		目標への努力 自己目標達成度
		表計算ソフトウェアの利用	1	・文書処理検定3級程度の問題を活用して、現段階での対応できる力を記録する。(基礎値の設定)		○	○		
	5	データベースとは	1	・データベースについて学習する。	○			○	授業態度
		データベースの利用	1	・表計算ソフトの機能を利用したデータベースを学習する。		○	○		自己目標達成度 課題提出状況
		日本語ワードプロセッサの利用	2	・文書処理検定3級程度の問題を活用して、ワープロの操作を学習する。		○	○		
	6	表計算ソフトウェアの利用	1	・文書処理検定3級程度の問題を活用して表計算ソフトの基本操作を学習する。	○	○	○	○	
		データベースの利用	1	・基本的な操作を通じてデータベースについて学習する。	○			○	授業態度
		日本語ワードプロセッサの利用	2	・文書処理検定3級程度の問題を活用して入力速度が上達できるように学習する。		○	○	○	自己目標達成度 課題提出状況
			表計算ソフトウェアの利用	1	・文書処理検定3級程度の問題を活用して、関数の基本を学習する。(合計、平均、最大、最小)	○		○	○
		前 期	中 間	考 査				○	定期考査
7	7	リモートセンシングと地理情報システムについて	1	・インターネットを活用した地理情報活用について学習する。		○	○		授業態度
		日本語ワードプロセッサの利用	2	・文書処理2級程度の問題を活用して国語力を学習する。		○	○		
	表計算ソフトウェアの利用	2	・文書処理2級程度の問題を活用して関数を学習する。		○	○	○		
	8	日本語ワードプロセッサの利用	2	・文書処理検定2級の問題から技術常識を学習する。	○	○	○	○	
		表計算ソフトウェアの利用	3	・文書処理検定2級の問題を活用して関数を学習する。		○	○	○	
9	農業情報と伝達メディア	2	・農業における情報伝達種類と内容を学習する。	○	○	○			
	農業分野における情報の活用	2	・農業分野における情報の活用について学習する。	○	○	○			
		前 期	末	考 査				○	定期考査
後期	10	農業のシステム化	1	・精密農業や生産管理システム、ロボット活用について学習する。	○			○	
		日本語ワードプロセッサの利用	2	・文書処理検定2級の問題を活用して文書作成を学習する。	○	○		○	
		表計算ソフトウェアの利用	3	・文書処理検定2級の練習問題を学習する。	○	○	○		
	11	プロジェクト発表と情報発信	1	・校内実績発表会に向けて、プレゼンテーションの基本を学習する。	○	○	○		
		プレゼンテーションソフトウェアの利用	4	・プレゼンテーションソフトウェアのアニメーション技術を学習する。	○	○		○	
		4	・プレゼンテーションソフトウェアの基本操作を学習する。	○	○	○			
		後 期	中 間	考 査				○	定期考査

後期	12	プロジェクト発表と情報発信	1・校内実績発表を通じて情報発信の方法を学習する。	○		○			
		日本語ワードプロセッサの利用	2・文書処理検定2級の練習問題を活用した文書作成を学習する。	○	○	○			
		表計算ソフトウェアの利用	2・文書処理検定2級問題を活用してグラフの作成を学習する。	○	○	○	○		
	1	日本語ワードプロセッサの利用	2・文書処理検定2級の問題を活用した文書作成に必要な構成を学習する。(時候の挨拶、感謝の言葉)	○	○	○	○	授業態度 課題提出状況	
		表計算ソフトウェアn利用	2・文書処理検定2級の問題を活用した表計算ソフトの関数の基本操作を学習する。	○		○	○	自己目標達成度	
	2	Webページの概要	2・Webページの基本構造を学習する。	○	○	○	○	授業態度	
		Webページの作成	2・Webページの基本的な作成を学習する。	○	○	○	○	課題提出状況	
		日本語ワードプロセッサの利用	1・文書処理検定2級の問題を活用して、国語力を学習する。	○		○	○	自己目標達成度	
			表計算ソフトウェアの利用	1・文書処理検定2級の問題を活用して、グラフの利用方法を学習する。	○	○	○	○	
	学 年 末 考 査						○	定期考査	
3	学校紹介プロジェクト	2・学校を知り各班に分かれて学校の魅力を学習する。	○				授業態度		
	日本語ワードプロセッサの利用	2・文書処理検定2級の問題を活用して技術常識を学習する。	○		○	○			
		表計算ソフトウェアの利用	2・文書処理検定2級の問題を活用して2級範囲の関数を学習する。	○	○	○	○		

3 評価等について

項 目	①関心・意欲・態度	②思考・判断	③技 能	④知識・理解
内 容	情報処理技術の向上に積極的に取り組み授業内で出される課題を行うこと。毎時間、出される課題には、終わらせていること。	出された課題から、答えを導くこと、毎時間行う課題に答えていること	情報処理技術の自己目標を定めて、期間ごとの目標値を達成していること。	定期考査および授業中の基礎テストなどから、理解を図ること。定期考査4回。各月に小テストの実施
割 合	15%(点)	15%(点)	20%(点)	50%(点)

4 履修にあたっての注意事項

- (1) 指示された以外のソフトの操作はしない。
- (2) 資格取得を目的とした学習が中心なので積極的に資格取得を目指すこと。
- (3) コンピュータ入力作業が苦手なこともあると思うが、授業時間の中で技能が向上するよう努めること。
- (4) 入力ができる生徒とできない生徒との比較ではなく自分の入力が早くなることで技能点は上がっていきます。打てる生徒も下がる可能性があります。

評価について

評価	評価点
10	100 ~ 93
9	92 ~ 85
8	84 ~ 77
7	76 ~ 70
6	69 ~ 61
5	60 ~ 53
4	52 ~ 45
3	44 ~ 38
2	37 ~ 30
1	29 ~ 0

学年末評定について

評定	評価点
5	100 ~ 85
4	84 ~ 70
3	69 ~ 45
2	44 ~ 30
1	29 ~ 0